

安全講習◆eラーニング導入

効率化&意識向上

萬運輸

萬運輸（東海林憲彦社長、横浜市鶴見区）は拘束時間の一層の削減に向け、毎月の安全講習にeラーニングを導入している。ドライバー以外の社員にも視聴させることで全社員の安全意識向上を図る。

（吉田英行）

全営業所に電子掲示板

新型コロナウイルス禍で対面研修が難しくなったことをきっかけに、動画を取り入れた教材を自社で制作。毎月の安全講習では、

部分を動画とすることで、安全担当者の出張や講義の負担が減るほか、各営業所で教育にバラつきが生じるのを防ぐ効果が得られた。

前半に安全担当者による動画講習を受けてもらい、後半は対面またはオンラインで役員を交え、ヒヤリ・ハット動画や事故防止対策についてディスカッションする形式で行ってきた。

ただ、改善基準告示の改正で更なる拘束時間の削減が求められていることから、安全講習の一層の効率化を検討。ディ・クリエイト（上西一美社長、大阪府豊中市）が提供するeラーニング教材を6月から導入

し、毎月の講習についてはeラーニングに切り替え、自社制作の動画による講習・ディスカッションは3カ月に1度とした。

受講対象者は、ドライバー1100人と本社管理部門40人、整備部門40人の正社員計180人で、導入翌月の7月には視聴率100%を達成した。役員も必ず毎月視聴している。

eラーニング教材の内容

は、国土交通省が定める指導・監督指針12項目が盛り込まれており、ドライブレコーダーの映像を基にした危険予知なども学べる。受講後はテストを受け、不合格の場合は再受講となる。

配送先での待機時間や帰

庫後の隙間時間を活用し、スマートフォンで簡単に視聴できるのがポイントで、全営業所に無線通信WiFi-Fi（ワイファイ）環境も整備している。

このほか、全営業所の入り口付近にはデジタルサイネージ（電子掲示板）を設置。毎朝、8時45分になると本社での朝礼を生配信するほか、eラーニング受講や健康診断受診、提出物、年末調整の案内といった連絡事項を画面表示して周知している。eラーニング教材で



安全啓発、最近の交通事故ニュースなども放映する。

東海林社長は「運送が主な業務である以上、ドラ

eラーニング受講や健康診断受診、年末調整など社内連絡事項を表示